

聞こえの検査《ささやき声》について

両側難聴は、およそ、1,000人のお子さんに対して1人の割合で見つかります。

1歳6か月のお子さんはことばを話しはじめる頃であり、聞こえの確認が大切な年齢です。

ご家庭で検査を行い、検査結果を健康診査票の「耳について⑩」にご記入ください。

気づかれないように、お子さんの後ろから“ささやき声”で名前を呼びかけてください。



◇◇◇ささやき声の出し方◇◇◇

のど（のどぼとけ）に手をあてて「アー」と言ってみてください。

指が少しビリビリします。

今度は息を「ハー」と吐いてみてください。指がビリビリしません。

このように、指がビリビリしないで息だけで出す小さな声を“ささやき声”といいます。

ないしょ話をするときに、よく用いられます。